第５回：中古・中世② ～日記 随筆 説話～

日記 作者 / 内容 / 成立順序 を覚える！

中古 中世

土佐日記…**紀貫之** **※女性に仮託**
最古の仮名書き日記
土佐から京都までの旅

蜻蛉日記…**藤原道綱母**
最古の女流日記
夫(藤原兼家)の浮気を嘆く妻の苦悩＆息子(道綱)への母の愛
心理描写にすぐれ、『源氏物語』に影響を与える

和泉式部日記…為尊親王と死別後の弟(帥宮敦道親王)との**恋愛 和歌**のやり取り

紫式部日記…前半は中宮彰子や道長のこと
後半「**消息文**」は和泉式部、赤染衛門、清少納言らへの批判

更級日記…**菅原孝標女**
物語大好き少女時代、つらい結婚生活、仏道修行の晩年

讃岐典侍日記…堀河天皇の看病日記

建礼門院右京大夫集…平資盛との恋愛
和歌が多く私家集にも分類可

明月記…藤原定家
新古今和歌集の勅撰過程

海道記・東関紀行…京都～鎌倉間の紀行文

十六夜日記…**阿仏尼**(藤原定家の子の妻)
自分の子(為相)と先妻の子との所領争いのため、鎌倉へ下った紀行文

とはずがたり…後深草院二条
後深草院の愛人としての宮廷生活と、西行を慕っての旅

三大随筆

枕草子…1000年頃成立

清少納言(中宮定子に仕える。父は清原元輔)

日記的章段：宮廷生活

類聚的章段：物づくし「山は」「川は」

随想的章段：自然や人事への感慨

「をかし」(明るく知的に「いいな！」)⇔源氏物語「もののあはれ」

方丈記…1212年頃成立

鴨長明

流麗な和漢混交文

無常観 隠者文学

徒然草…1331年頃成立

兼好法師(吉田兼好、卜部兼好)

無常観 隠者文学

自然、人生、趣味、有職故実など多彩な内容←枕草子からの影響

説話

日本霊異記…最古の仏教説話

↓

今昔物語集…最大の説話集(仏教説話＋世俗説話)

天竺(インド)、震旦(中国)、本朝(日本)のおはなし

和漢混交文 定番の形式「今は昔……語り伝へたるとや」

芥川龍之介「羅生門」「鼻」「芋粥」は今昔集のパロディ

平安時代のその他の説話…三宝絵(詞)、古本説話集、打聞集、宝物集など

⇓

発心集…鴨長明 仏教説話

宇治拾遺物語…世俗説話 和文体

「舌切り雀」「こぶ取り爺さん」なども

十訓抄

古今著聞集…橘成季

沙石集…無住